

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	197	事業名	生涯学習関係経費			事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	社会教育関係経費			中事項	生涯学習関係経費			
事業開始年度	昭和 51 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等()					
		部課名	生涯学習部恵山教育事務所						
		電話番号	85-2222						

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 高齢者大学や文化祭等の各種事業を展開し、もって地域住民の生涯学習の推進や活性化を図る。</p> <p>【必要性】 ・数少ない地域の行事(事業)として定着しており、生涯学習の推進に資している。</p>
内容	<p>・高齢者大学～各種講座や体験学習, クラブ活動</p> <p>・恵山地区文化祭およびステージ発表会～恵山地区の文化芸術, 芸能等の活動の紹介や発表</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人, 千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		234	73	102	50	73	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		234	73	102	50	73	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.40 3,186	人工 0.40 3,003	人工 0.40 2,896	人工 0.40 2,896	人工 0.40 2,916	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	3,186	3,003	2,896	2,896	2,916	0
総事業費計(A+B)		3,420	3,076	2,998	2,946	2,989	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
高齢者大学 参加者	人	226	248	227	
文化祭 延べ参加者	人	685	527	380	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	所期の目的は達成できてはいるが、今後も工夫した開催内容が求められる。
--------	------------------------------------

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	クラブ活動等の発表の場でもあり、地域住民の楽しみの一つとなっている。	コスト・負担執行方法	コストの節減度	節減できている	これまでにも事業の見直しにより経費の節減に努めてきたが、これ以上の節減を図る余地は少ない。なお、受益者負担を求める事業はない。	
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在と変わらない		
			受益者負担の適正度		評価対象外			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	地域の特に高齢者を対象とした行事(事業)として定着し、一定の参加者がいることから、現在の事業は適切であると考え。	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	地域に密着した事業を展開しているため、常に関わりを持ち、信頼関係が構築されている職員が行うことで、参加者が確保されるなどの効果がある。		
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)			
評価結果から明らかになった課題事項など		市民ニーズから今後も必要な事業であるが、事業費の節減を図りながら効率的に事業を推進する必要がある。						

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) ・各種生涯学習事業は、地域の行事(事業)として定着し、一定の参加者がいることから、現行どおり事業を継続する。
	現行どおり	(経費について) ・経費についても同様に現行どおりとする。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--